



うさぎぐみだより

2024 年度 2 月号
尚徳福祉会 生麦保育園

戸外に出て鉄棒や滑り台の手すりの冷たさに、思わず手を引っ込める子どもたち。でも、鬼ごっこや追いかけっこが始まれば、あっという間に心も体もポッカポカ。寒風が吹く園庭に笑顔の花が咲いています。

寒さや乾燥が気になる季節になりました。風邪や感染症に負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。

今年度も残り二ヶ月を切りました。一日一日を大切に、今月もおもいっきり楽しんで過ごしたいと思います。

【散歩】

先月は貝ノ浜公園、河川敷、ヘビ公園、生麦公園…などなど、いろいろな所に散歩に出かけました。

子どもたちに散歩へ行くことを伝えると、今まであそんでいたおもちゃを素早く片付け、準備をするほど、散歩が大好きな子どもたちです。他のクラスのお友だちと一緒に散歩へ行き、かけっこをしたり、ごっこあそびをしたりと楽しい時間となりました。小さなクラスのお友だちと行くときには、しっかりと手を握り、道路側を歩き頼もしかったです。

今月も、足を延ばして少し遠い公園にも行き、寒さにも負けず元気に、たくさんあそびたいと思います。

【制作】

だるまと干支のヘビの凧を作りました。

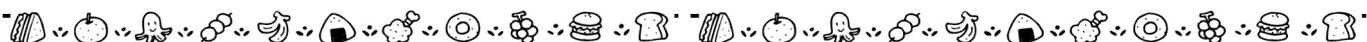
だるまは、画用紙から好きな色のものを選び、まゆげ・目・ひげ・口を子どもたちが貼りました。正月あそびに福笑いというものがあることと楽しみ方を話してから作りました。できあがると「これ、つくったの!」と嬉しそうな声が聞こえてきました。

凧は、丸い画用紙に水性ペンで模様を描き、切り込みを入れてヘビの形にしました。凧の紐を持って走ると凧がクルクルと回り、「すごーい!」と感動している様子で、何度も何度も走っていました。



【花が咲きました】

子どもたちは 11 月から水栽培をしているヒヤシンスの球根の生長を見守ってきました。「ヒヤシンスのみずをこうかんしないの?」「なんかちょっとおおきくなったよ」と毎日よく観察して、芽が出て葉が伸びて、つぼみとなり…花が咲くのをズ〜っと楽しみにしていました。ある朝、花が咲いているのを見つけて「せんせい!! はながさいている!」と大興奮していました。初めに咲いた花はピンク色でした。残りの 5 つは何色が咲くのか楽しみです。



【お願い】

きりん組に向けて、少しずつお箸に移行していきたいと思っています。ご家庭でも、お箸に慣れるよう、使ってみてください。ご協力をよろしくお願い致します。